

情報学科目群

全学共通科目の情報学科目は、科目選択の目安となるよう「基礎」と「各論」に分類されています。基礎に分類される科目としては以下の3科目を設定しています。

情報基礎（クラス指定科目ならびに全学向）

この科目は情報科学・情報技術についての教養科目です。大学卒業後、社会に貢献していく上での素養となるような、情報科学や情報通信技術の基礎をなす理論・概念（例えば、情報とは何か計算とは何かに関する理論や、情報の表現方法に関する諸概念）や、現時点で社会に大きな影響を与えている新技術（例えば暗号や人工知能）に関する知識を学びます。

情報基礎演習（クラス指定科目ならびに全学向）

この科目は本学のすべての学生に求められる一定の情報利活用能力を身に着けるための科目です。すべての学生にとって、学士課程における学修や社会的活動、並びに卒業後に大学院や社会における知的活動に際して必要となる情報探索、情報分析、および情報の表現・視覚化などの情報利活用の能力（これらを情報リテラシーと呼ぶ）と、その前提となる情報機器の操作能力（これらをコンピュータリテラシーと呼ぶ）を修得することを目的としています。また、現代社会において情報の収集や発信を行う際を守るべき社会的ルールに関する知識についても併せて修得します。

情報と社会

この科目は情報と社会の関わりについて学ぶ教養科目です。現代社会における情報と情報技術の利用に関連する諸問題に関する知識を獲得し、また、それらについて自ら考える機会を持ちます。

基礎に分類されるこれらの3科目については英語で講義を行う科目も提供されています。

また、情報基礎、情報基礎演習については、学部、学科などを単位にクラス指定して実施されるものと、全学向として実施されるものがあります。クラス指定されている学部・学科に所属する学生の皆さんは、卒業に必要な単位の要件などを確認して、適切な科目を履修するようにしてください。なお、情報を専門として学ぶ工学部情報学科の学生向けには情報基礎演習に代えて「情報基礎実践」が開講されています。

各論に分類される科目では先の「基礎」科目に関連した内容について特定的话题を取り上げてより深く学ぶ科目や、様々な分野で実際に利用されるプログラミングやコンピュータ・グラフィックスなどを演習・実習形式で学ぶ科目を提供しています。一部の各論科目では英語で講義を行う科目も提供されています。